

授業情報			
開講年度	2026年度	開講箇所	大学院教育学研究科
科目名	数学科教育研究演習(D-1)(高木)		
担当教員	高木 悟		
学期曜日時限	春学期 01:木6時限		
科目区分	演習(教科教育)・教科内容学	配当年次	1年以上
使用教室		キャンパス	早稲田
科目キー	372B210403	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	日本語		
授業方法区分	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)		
コース・コード	EDUX782S		
大分野名称	教育学		
中分野名称	教育学		
小分野名称	その他		
レベル	博士レベル	授業形態	演習／ゼミ
単位数	2		

シラバス情報					
授業概要	教育情報工学に関する新しい研究課題についての演習を行なう。 特に、ファジ理論やラフ集合理論、テスト理論を応用した教育情報の分析法、その応用法に関する研究を行なう。 対面(zoom中継あり)とオンライン(zoomのリアルタイム形式)を併用する。				
授業の到達目標	ファジ理論やラフ集合理論、テスト理論を応用した教育情報分析について深く理解し、基礎理論・応用理論を研究することが可能となる。				
事前・事後学習の内容	【事前学習】 次回の学習範囲を予習し、特に自分の発表担当の箇所はより深く理解するよう努める。 【事後学習】 扱った単元を復習し、関連する問題等があれば解いて理解を深める。 毎回合計で4時間程度かかると想定される。				
授業計画	#1. ガイダンス・テキスト選定・イントロダクション #2～#14. 教育情報工学演習				
教科書	受講者と相談して決める。				
参考文献	「ファジ理論 基礎と応用」 山下元監修 瀧澤武信編著 共立出版 「ラフ集合と感性」 森典彦他著 海文堂出版 「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」 Z. Pawlak著 Springer				
成績評価方法	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">割合</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">評価基準</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">平常点評価: 100% 発表・発表の準備・討論の態度などで評価する。</td> </tr> </table>	割合	評価基準	平常点評価: 100% 発表・発表の準備・討論の態度などで評価する。	
割合	評価基準				
平常点評価: 100% 発表・発表の準備・討論の態度などで評価する。					